

研究内容

救急医学とは、急病で来院するすべての救急疾患（内因性、外因性、複合性）の初期診療を行い、とくに心肺脳蘇生を中心とした集中治療管理も統括する医療の根源に関わる医学である。また病院前救護への関与に関わることで救急隊員へのメディカルコントロール体制整備による救急医療の質の向上への寄与、災害（自然災害、人為的災害、複合災害）による健康危機への対応を研究する災害医学も救急医学における重要な役割の一つである。

大学院では、救急診療に必要な知識や技術を修得し指導的な役割を果たした上で、基礎的または臨床的研究に従事し、成果をまとめて学会発表、論文作成ができることを目指す。

研究課題

- ① 救急医療システムと病院前救護
- ② 心肺脳蘇生法の標準化と教育に関する研究
- ③ 重症病態に対する集中治療管理
- ④ 循環器救急に関する基礎的または臨床研究
- ⑤ 神経救急に関する基礎的または臨床研究
- ⑥ 頭部外傷に関する臨床研究
- ⑦ 災害医療の標準化と教育に関する研究
- ⑧ 国際災害時の邦人救出対策の実践的研究
- ⑨ 外傷手術手技に関する臨床研究
- ⑩ 脳蘇生脳保護法の開発と基礎研究
- ⑪ 神経免疫、炎症に関わる基礎研究
- ⑫ 救急疾患と酸化ストレスに関する基礎的および臨床的研究
- ⑬ 心肺脳蘇生法やAEDに関する基礎的および臨床的研究
- ⑭ 医療安全患者安全に関する臨床的研究
- ⑮ 医療シミュレーション教育に関する研究

教育目標

- ① すべての救急疾患（内因性、外因性、複合性）の病態および初期診療を習得する。
- ② 心肺脳蘇生法や集中治療管理に習熟する。
- ③ 病院前救護への関与も含めた救急隊員へのメディカルコントロール体制整備による救急医療の質の向上へ寄与できる。
- ④ 災害（自然災害、人為的災害、複合災害）発生時に対応できる能力を養成する。
- ⑤ 救急に関する初期診療セミナーに指導的立場で参加する。
- ⑥ 診療および研究成果をまとめ、発表・論文作成ができる。

到達目標

- ① 実際に幅広いすべての救急疾患に対応できるようになる。
- ② 心肺脳蘇生や集中治療管理が実際に行える。
- ③ 病院前救護への関与も含めた救急隊員へのメディカルコントロール体制整備による救急医療の質の向上に関わる。
- ④ 実際に災害（自然災害、人為的災害、複合災害）発生時に対応できる。
- ⑤ 救急に関する初期診療セミナーで実際に指導を行う。
- ⑥ 実際に診療および研究成果をまとめ、学会発表・論文作成を行う。

STAFF

教授 武田 聡
卯津羅雅彦

准教授 大谷 圭
奥野 憲司

講師 行木 太郎